

ねりいた 練板ベー通信

2017年6月6日 vol.172
練馬板橋ベーゴマの会
作：夕陽のヤスジ



あんなに大人が朝から騒いでたのに、 持ってたのはちかはるとソウタ!

朝から大人が騒がしい。6月4日(日)梅雨にはまだ早い、青葉が茂る板橋平和公園だ。

早い者勝ちでベーを加工できるとあり、普段目にしない大人たちが9時30分前からダベっているのだ。中Gが早々と登場すると、そのダベりに拍車がかかる。お目当ては、中Gが持ってくる重いベーのゲットだが、それは後のお楽しみだ。

待てよ、中Gが練板オープンに参加するとはめずらしい。もしかして中G、今年から始まった“NIB グランドスラム”を取りに来たんじゃねえのか。確かベー王戦を取ったよな。あとオープンと角六戦を取れば、本人デザインのオリジナルベー50個がもらえるってか。アハハ、それはどうかな。そうは問屋が卸さない。練板はそんなに甘くないのだ。滅法強いのがゴロゴロいるからな。

中G、ハルクの前に野望を逸す

そうこうしているうちにいよいよ対戦となる。注目の中Gといえ、一次予選8点、二次予選10点で全体の14位、滑り込みセーフだ。しかし、その中Gの前に立ち塞がったのが、今期絶不調のハルク。ここまで決勝トーナメント進出はたったの2度。それも1回戦負けだ。かつてのバロンドールがどうしたことだろう。しかし、今日のハルクは違っていた。入念にベーを加工し、しかも焼きまで入れた。何か心に期するものがあつたのか。すると、あの中島ベーを二度弾き出したのではないか。腕の痛みをものともせず、渾身の力を入れたベーが、唸りを上げて襲い掛かったのだ。やる〜ハルク。さすが〜。しかし、そのハルクもシュガーの早いベーに破れベスト4止まり。今年もオープンは取れなかった。残念。

ちかはる飄々と初タイトルは練板オープン

子どもでただ一人、決勝トーナメントに進出したちかはるが、あれ



ソウタママ、ちかはる おめでとう!



秘かに野望が
打ち砕け
中G



よあれよという間に勝ち上がる。平井おやぢ、マックス、ジョージ、居並ぶ大人たちを淡々と退けていく。筆者などは、マックスを破った瞬間、思わずちかはるの手を握りしめてしまった程だ。何なんだろう、ちかはるって不思議な子だ。決勝だというのに一向に緊張もせず、ホイ、ホイと投げ入れる。勝てば初タイトルだが、そんなことお構いなしだ。『面白く終わらないかな』なんて、勝つことよりも“受ける”ことを期待しているのだ。これでは相手のシュガーさんもやり難かっただろう。こちらも勝てば念願の初タイトル、それが目の前にあるのに、気合が入らない。気がつけばシュガー1本、ちかはる3本で勝負ありだ。参ったね。血まなこになってる大人たちが逆に子どもに見える。できればちかはるのようにありたいものだ。大したもんだ、ちかはる！おめでとう。



女流王はしばらくソウタママかな

紅一点、女流で予選6位だったソウタママが、決勝トーナメントに進出し女流王だ。トーナメントでは、鉄人後藤に1対2で惜しくも敗れたが、その奮闘に拍手だ。歴代いろいろな女流がいたが、このソウタママもその内タイトルを取ることだろう。予選で弾き出された小出っちととーさん、ウカウカしてられんぞ。



バロンドールは3位にシュガー

トップマックス、2位ほん魂六角に変わりは無いが、今回準優勝のシュガーが10ポイントで3位に浮上した。4位にはグレートヒデ、活躍するとすぐ結果が出るね。上位二人を何とか予選落ちさせたいが、うまくいかないな。まだまだマックス対策が中途半端だ。みなさん、ご協力お願いしま〜す。

ソウタ、今度はガチホンで全部取り

去年の練板オープン覇者ソウタが、今回はガチホンで全部取りだ。ギャオじい、ソウタママ、イッサ、松ちゃんを撃破。低く削ったベーに角を付け、相手のケツを取る作戦だ。これには最近メキメキ腕を上げたヒデさんもお手上げた。ソウタが『よしっ』と小さくつぶやくと、ヒデベーの下をコンと一発。これが見事に決まり、大量のベーにご満悦のソウタでした。

